

# IMSAP スタジオ

イノベーション・マネジメントシステム・  
アクセラレーションプログラム

2023年 第8期

## WHAT'S IMS ?

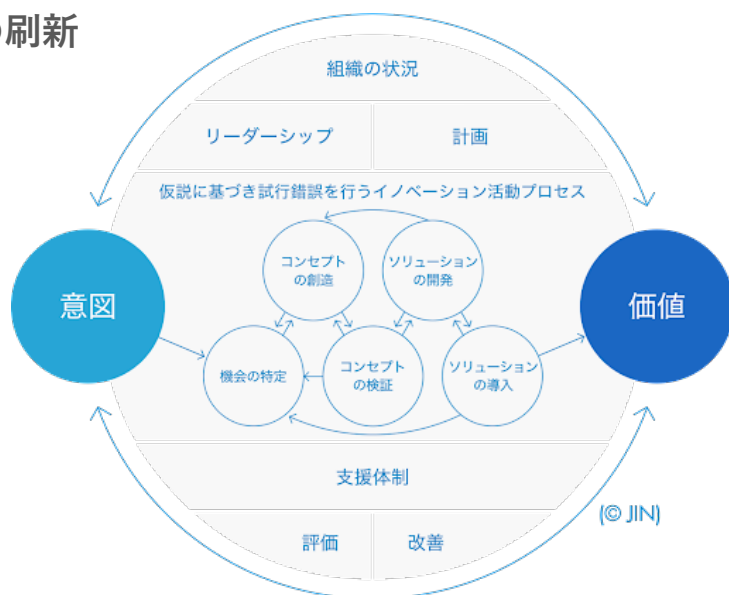
### いま企業に必要なのは、古い経営システムの刷新

「本業を持つ組織からイノベーションを興しづらい」というのは、世界各国の共通の悩みです。既存事業の慣習や経営の常識が、異なる原則を持つイノベーション活動を阻害するためです。

そのような悩みを抱えた国が59カ国集まり、イノベーション・マネジメントシステム(IMS)の国際規格、ISO56000シリーズが2019年に発行されました。

IMSAPスタジオは、規格づくりに日本を代表して初期から参画している一般社団法人Japan Innovation Network(JIN)の日本初のIMS実践者向け入門プログラムです。

右図は、国際規格(ISO56002)で定められたIMSの骨格です。IMSは、継続的イノベーションに求められる経営システムです。オペレーション(モノづくりと改善)に最適化された経営のまま、デザイン思考などの「イノベーションのためのツール」を導入しても、期待した成果は生まれません。「古い経営システムの刷新」が、今求められています。



IMSコンパス  
(ISO56002に基づきデザイン)

## VALUES

本プログラムは、世界最先端のイノベーション・マネジメントシステム(IMS)の知を習得し、IMSの導入に向けた準備を進めることを目的としています。本プログラムは勉強のための単なる研修ではありません。



### 最先端知識の習得

ISO56000シリーズに基づき、IMSの要素とあり方を体系的に習得する



### チーム構築

各社3-5名で参加しIMS導入・実践の中核となるチームを構築する



### IMS導入準備

担当役員の合意獲得を含む、IMS導入・実践に向けた道筋を立てる



### コミュニティ参画

IMS実践をめざす他企業のリーダー・専門家を含むIMSプロフェッショナルのコミュニティの一員となる

### ～本プログラム参加をお勧めする企業～

- イノベーション・マネジメントシステム(IMS)の実践を検討している
- 様々な手法に取り組んでいるものの、成果が出ず苦労している
- イノベーションの必要性は理解しているが、何から着手すべきか苦慮している
- イノベーション推進人材の育成が急務と考えている
- ISO56002規格を読んでみたものの、その意味合いが十分に理解できない

価格 **200万円** (税別)

IMSAPスタジオは、動画学習、対話セッション、自社議論により構成されます。ISO56002規格の詳細を動画コンテンツで学習し、対話セッションで他社の参加者およびJIN専門家と議論し、理解を深めます。その後、自社チームで自社の状況把握、IMS導入に向けた準備を進めます。



### 1. 動画・個人学習

- IMSとISO56002について、動画（各回:10-20分程度）で事前学習する
- ご都合の良い時間に視聴
- 課題を検討し、対話セッションに臨む



### 2. 対話セッション

- 全5回の対話セッションに複数企業の参加者が集合
- JIN専門家陣、他企業の参加者との対話や議論を通じ、規格の深い理解と自社適用のヒントを得る



### 3. 自社内議論

- 対話セッションで学んだ内容をもとに、自社でのIMS実践に向けた道筋や現状の課題を議論する
- 自社でのIMS立ち上げに向けてコアチームを構築する

## REQUIREMENTS

✓ 自社のIMS導入・実践に熱意あるリーダーの存在（役職は問いません）

✓ IMS検討・推進に関わる3~5名による参加（活動を通じてチームを構築）

✓ IMS導入・推進を支援する役員の存在（不在の場合、活動期間中に探していただきます）

## SCHEDULE

動画学習	対話セッション	自社内議論
1. IMSの基本 2. ISO56002概要解説 3. IMSの原則 4. IMSコンパス	<b>第1回</b> 2023年10月3日 15:00~17:30 ・なぜイノベーションにマネジメントシステムが必要なのか ・IMSの全体像を理解する ・ISO56002の意味合いを理解する	・復習テストの実施 ・なぜ自社にIMSが必要か議論 ・説得すべき役員と巻き込む仲間の候補をリスト化
5. 組織の状況(4章) ・組織状況の理解 ・利害関係者のニーズと期待 6. リーダーシップ(5章) ・リーダーシップコミットメント ・ビジョンとイノベーション戦略 7. 計画(6章) ・機会とリスクを明らかにする ・目標と達成に向けた計画の策定	<b>第2回</b> 2023年10月24日 15:00~17:30 ・自社の現状を把握する ・リーダーシップの重要性を理解する ・計画策定の重要性を理解する	・復習テストの実施 ・組織の現状、リーダーシップ、計画策定に関する課題を議論 ・IMS導入に向けた道筋を議論
8・9. 支援体制(7章) ・経営資源の概論と人材・時間と知識のマネジメント ・財務とインフラ ・力量のマネジメント ・認知度、コミュニケーションと文書化情報 ・ツール、方法と知財のマネジメント	<b>第3回</b> 2023年11月15日 15:00~17:30 ・支援体制の重要性と経営資源の投入のあり方を考える	・復習テストの実施 ・自社の支援体制の課題を議論 ・IMS導入に向けた道筋を議論
10・11. イノベーション活動(8章) ・活動の計画・機会の特定・コンセプトの創造と検証 ・ソリューションの開発と導入	<b>第4回</b> 2023年12月6日 15:00~17:30 ・イノベーション活動とそのプロセスのあり方を理解する	・復習テストの実施 ・自社のイノベーション活動のあり方を議論 ・役員・仲間へのアプローチ開始
12. パフォーマンス評価/改善(9/10章) ・測定/分析/評価および内部監査 ・マネジメントレビューと改善	<b>第5回</b> 2023年12月20日 15:00~17:30 ・評価と改善を通じたマネジメントシステムの習熟の重要性を理解する ・各社のIMS導入に向けた現状を共有し合う	・修了テストの実施 （所定の条件を満たせば、IMSジュニア・プロフェッショナル認定）

お問い合わせ・お申し込みはこちらから



[ims@ji-network.org](mailto:ims@ji-network.org)



Japan Innovation Network

一般社団法人Japan Innovation Network  
 〒100-0011  
 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー8階  
<https://ji-network.org>